大井九条の会

大井九条の会
事務局連絡先
83-2358　二上

12月10日の定例会では

ガザの問題について学習しました。また、11月25日の「平和の集い」について反省と感想を出し合い、今後の予定について話合いました。

当日は、他の行事とも重なり、今までの行事と比べ少ない参加者（28名）でしたが、大スクリーンと演者による語りに「「想像で追体験できた」「戦争の恐ろしさ、悲惨さが身に染みた」などの感想が出されました。（だされた感想は後述）

グループでの話合いのあとの報告の中では、70代の方から、広島市で育ったが、その当時友達のところに遊びに行くとだいたい誰か床に臥していていた。また先生にも被災した方がいて身体にケロイドなどがあった。今年、広島市の平和教材から「はだしのゲン」が取り除かれてしまったが、広島市の友人から、8月6日に学校でやっていた被爆者から話を聞き平和を考える行事を、3年くらい前に止めてしまったと聞き、これも根っこは同じではないかと思った。等々、いろいろな話が出て有意義な時間でした。

11月25日「平和の集い」好評でした

開演前のコカリナ演奏

「はだしのゲン」開演

Ⅱ部 グループでの話合い

原爆被災パネル展示

参加者のご感想

◎紙芝居に感激しました。朗読がとてもすばらしく心に響いてきました。昔マンガを見ていた時にはなんとなく流して読んでいましたが、紙芝居でこんなに深くすいこまれ、これから孫たちにもマンガをすすめたいと思っています。【80代】

◎ゲンのお父さん、英子姉さん、進次がなくなるところでは、涙が出そうになりました。戦争の恐ろしさ、悲惨さが身にしみました。

また、鯉を盗んだり、浪曲を行ったりするゲン達には、まだ小学校2年生と、その下の弟とは思えないたくましさを感じました。父親の思想に反対するのではなく、それを信じ、家族全員で支え合っている姿は、戦時中の小さな光に思えました。今回は参加している人が少なかったけれど、中沢さんの絵・朗読ともに良かったと思っています。また続けてください。中沢さんの書こうとしていた 第2部、読みたかったです。第5福竜丸を扱っていたりしたのでしょうか？【40代】

◎オカリナいいですね。ああいう形のオカリナ初めて見ました。「はだしのゲン」広島市教育委員会にはがっかりしたが、かえってそれに危機感を覚え、部数が伸びていることは救いを感じる。ゲンのお父さんは思っていることを言えて素晴らしい。町内会長やその息子は戦後どうしたのだろう。（実は 植木等さんのお父様（僧侶）も戦争反対を訴え、村八分になっている）本当のことを言える人が少数派だと本当に恐ろしい。そういう人が原爆の火の下敷きになってしまうなんて。原爆投下の後、シーンとしていたというのは本当に怖い。そして、命がけで「逃げて、生き抜け」と言ってくれた父。助けてくれた朴さん。この惨事の中、産気づく母、誕生した妹、友子ちゃん。小学生のゲンが妹を取り上げたり、実家から家族の遺骨を掘り出すなど、本当にすごい。全く「戦争のバカタレ」です。グループでの話合い：・孫にも読ませたい。・朗読がとてもいい。・戦争はやってはいけない。始まったら止めるのは難しい。・政治に関心がなさすぎ。・投票にいくこと！・子ども達にも見せたい。・孫に「はだしのゲン」全10巻を読ませたい。・次世代に伝えないと。【60代】

◎交通で国府津駅で50分、御殿場線を待ち遅れてすみません。紙芝居を立体化し、セリフを劇化という工夫が素晴らしいです。①ヒロシマ体験を演じることでより深く認識すること ②それを見て想像力で追体験、とても良かったです。【70代】

◎せんそうはこわいと思った。・一番こわかったのは、家ごとかぞくがもえてしまったところ【19歳以下】

◎「はだしのゲン」のまん画は若い頃読んだ記憶がありますが、全刊ではなかったようで、ゲンのお父さんお母さんの生き方、非国民と呼ばれても意志を曲げずに生き抜いた姿勢は知りませんでした。お父さんの「生きて生きて生き抜け」という言葉が胸につきささりました。【70代】

◎先日、山田朗先生の講演会が大変興味深く、陸軍登戸研究所を中心とした 秘密戦の歴史からの戦争と平和を考えるテーマで日本の隠れた黒歴史も やっと事実を知ることができ、霧が晴れた気持ちでした。【70代】

日本国憲法　第二章　戦争の放棄

第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

第二項 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

次回定例会
・1月7日（日）14時～
・生涯学習センター第４会議室